

第1回境港市みんなでまちづくり推進会議録

日時：令和2年3月30日（月）午後6時～8時5分

場所：市役所第一会議室

日程

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 委嘱状交付
4. 各委員自己紹介
5. 会長、副会長の選出
6. 境港市民活動推進補助金審査
7. 今期取組テーマについての協議
8. そ の 他
9. 閉 会

出席者（敬称略）

（委員）

遠藤恵子 松本幸永 松本信子 渡邊冬樹 井上竜輔 遠藤緑
松田真二 幸野靖子 畑本愛 池淵一 吉田明広

（事務局）

沼倉加奈子（地域振興課長） 木村哲（地域振興課企画係長）
渡部大樹（地域振興課企画係主任）

欠席者（敬称略）

渡邊茜

傍聴者

なし

1. 開会

（地域振興課長）

ただいまより「第1回境港市みんなでまちづくり推進会議」を開催いたします。私は、総務部 地域振興課長の沼倉と申します。よろしく願いいたします。
築谷総務部長でございます。

（総務部長）

昨年の4月より総務部長を背任しております築谷と申します。みんなでまちづくり条例の担当部ということになります。平成19年度来、期を重ねて今回が7期となっております。これは境港市のバイブル的な条例でございます。自分たちのまちは自分たちで築くという市長の基本理念に基づく条例で、それに基づく会議であります。皆さまからは忌憚のないご意見を頂戴できたらと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

(地域振興課長)

事務局は地域振興課の企画係が務めさせていただきます。企画係長の木村、担当の渡部です。よろしくお願いいたします。

この「みんなでまちづくり推進会議の委員」は今回で第7期となります。本日は、第1回目の会議になります。

最初に、中村市長が、ご挨拶申し上げます。

2. 市長あいさつ

(市長)

皆様、こんばんは。

本日は年度末の何かと忙しいところ、「みんなでまちづくり推進会議」にご出席いただき、誠にありがとうございます。

皆様方には、第7期となります委員への就任を快くお引き受けいただき、厚くお礼を申し上げます。今期の委員につきましては、本市に移住してこられた方にも加わっていただいたところであり、本市と異なる環境に住まわれたご経験に基づくご意見などを頂戴したいと思います。なお、本日はあいにくご欠席ですが、島根大学の毎熊教授にも、引き続きアドバイザーとして、専門のお立場から助言をいただくこととしております。

さて、私は、「自分たちの住むまちは自分たちで考え、自分たちで創り上げていく。」この思いのもと、市長就任以来、一貫して「協働のまちづくり」の考えを提唱し、意識の醸成や活動の支援などを図ってまいりました。

今日では、様々な場面で活動の輪が広がっているところであり、今後もこうした取り組みが末永く続いていくことを願っております。

皆様方には、「協働のまちづくり」の推進役として、これから2年間お世話になります。様々な視点からの忌憚のないご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

3. 委嘱状交付

(地域振興課長)

続きまして委嘱状の交付となります。

本来であれば、委員の皆様にご直接お渡しすべきところですが、この後、補助金審査や協議

もあることから、あらかじめ席上に配布させていただき、交付に代えさせていただいておりますこと、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

それでは、第1回目ですので、委員の皆様から一言ずつご挨拶をいただきたいと思えます。【資料1】に委員名簿もございますので、あわせてご覧いただきますようお願いいたします。

4. 各委員自己紹介

(委員)

第3期からさせていただいております。団体の方では、「境港ウインドアンサンブル」という吹奏楽の団体で、市の色んなイベント等で演奏をさせていただいております。よろしく申し上げます。

(委員)

第6期から参加させていただいております。まだ分からないことも多いのですが、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思えます。今は外江公民館に勤務しております。よろしく申し上げます。

(委員)

境港青年会議所で昨年理事長をしていたご縁で第6期から出させていただいております。会社で商売もしておりますので、若い目線と経営・商売の目線でまちづくりに協力できればと考えております。よろしく申し上げます。

(委員)

境港次世代農家の会NEXTの会長を務めさせていただいております。この会は白ネギ農家の会で、そのほか境港大漁太鼓もやっています。境港が本当に好きでこれからどんどん盛り上げていきたいと思っています。よろしく申し上げます。

(委員)

第6期から参加させていただいておりますが、そのときは、まちづくり若者委員会の委員もさせていただいて、それまでは境港について、好きではいましたが、あまり考える機会がなかったのですが、2つの会議に出させてもらって、すごくまちのことについて考えるようになって、とても勉強になりました。前回は、分からないことも多かったのですが、今回は前回学んだことも生かして頑張りたいと思えますのでよろしく申し上げます。

(委員)

島根大学法文学部で、毎熊先生のもと学んでいます。今回、初めての参加となりますが、よろしく申し上げます。

(委員)

17年前に境港にやってきました。そのときは現役の自衛官だったので、まさかここに定住することになるとは思っておりませんでした。子どもが生まれたのをきっかけにこちらに定住する運びとなりまして、境港荒神神楽太鼓保存会という太鼓チームに所属させていただいたのがきっかけで境港の魅力に心打たれまして、もっともっと良いまちになったら良いなという思いがずっとあったので、今回こういう話をいただいて自分が永住するまちですので、まちづくりに協力できるなら嬉しいなと思って来させていただいています。よろしくお願いします。

(委員)

今回から参加します。私は30年間名古屋市に住んで、親が死んで戻ってきた移住者みたいなものです。私の視点は全て名古屋基準です。戻ってきてすぐに感じたのは、このまちは眠っている。で、境小学校の新一年生の学年数が1クラスしかないということを聞いて、このまちは消滅すると思いました。何とかせんといかんだろうと思って参加しました。建築設計事務所をやっています。よろしくお願いします。

(委員)

電気屋をやっています。今回初めてなのでよく分からないですけど勉強しながらやっていきたいと思しますので、よろしくお願いします。

(委員)

更生保護女性会をやっています。46年前に米子市から嫁いできました。この会議に参加して、これほど境港市について考えることはなかったなと感謝しております。今期も2年頑張りますのでよろしくお願いします。

(地域振興課長)

なお、名簿の7番目、まちづくり若者委員会の渡邊茜さんは本日ご欠席となっております。また8番目の松田真二さんは遅れていらっしゃることを連絡いただいております。この12名の委員で会議を進めて参ります。よろしくお願いします。

また、本推進会議のアドバイザーには、引き続き、島根大学法文学部の毎熊浩一教授にお願いしております。会議ですとかワークショップ等を行う際には、お越しいただき、アドバイスをいただきます。略歴等につきまして、委員名簿に続けて記載しておりますので、本日のご紹介に替えさせていただきます。

誠に申し訳ございませんが、このあと所用がございますので、市長と総務部長はここで退席させていただきます。

(市長)

皆さま、どうぞよろしくお願ひいたします。

※市長・総務部長退席

5. 会長、副会長の選出

(地域振興課長)

続いて、会長、副会長の選出です。

【資料1】委員名簿の裏面に、条例及び規則から一部抜粋したものを付けておりますので、そちらをご覧ください。規則第11条によって、会長及び副会長は委員の互選により定めることになっております。

委員の皆様からご提案はありませんでしょうか。

※委員、提案なし

ないようでしたら、事務局の方から、会長、副会長について提案させていただいてもよろしいでしょうか。

では、会長に松本幸永委員、副会長に松本信子委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

※会場、拍手

皆様のご承認をいただきましたので、お二人にお願いいたします。

それでは、会長の松本幸永委員と、副会長の松本信子委員には、会長、副会長の席に移動していただき、それぞれ一言、ご挨拶を頂戴できますでしょうか。

(会長)

第7期の会長を務めさせていただくことになりました。テーマ・市民活動推進補助金と、第6期は色々なやり方をやったのですが、また皆さんから知恵を出していただけたらと思います。よろしくお願ひします。

(副会長)

私は公民館職員ですので地域と関わっておりますけれども、どうやってまちづくりをしていったら良いか分からないところがあり、この会議に参加していると、はっとすることもあります。また新しい方々と一緒に境港を良くしていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

(地域振興課長)

また、【資料2】につきましても、境港市みんなでまちづくり条例の内容について、説明した資料となっております。今後の参考にしていただきたいと存じます。

委員がいらっしやったので、自己紹介をお願ひできますでしょうか。

(委員)

夕日ヶ丘に住んでおります。13年前に境港に引っ越しまして、夕日ヶ丘では自治会長をしたり、渡地区の役員もしたりしております。よろしく申し上げます。

(地域振興課長)

ありがとうございます。

それでは、以降の議事進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。

6. 境港市民活動推進補助金審査

(会長)

それでは、市民活動推進補助金の審査に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。

(事務局)

まずは、この境港市市民活動推進補助金について簡単に説明させていただきます。この補助金は、市民活動団体などが実施する市民活動を促進するための事業に対して交付するものです。毎年4回募集をして4回審査を行っています。この度の審査は、令和2年度から実施する事業を対象に募集をしたもので、3月2日から3月16日まで募集し、1件の応募がありました。

審査にあたっては、書類の送付が遅れまして、委員の皆さまには短い期間の中で書類審査をしていただきました。ありがとうございます。また、新任の委員の皆さまにはなかなか勝手も分からなかったところかと思いますが、ご協力いただきありがとうございます。事前審査による申請団体の評価点は、別紙のとおりとなりましたので、ご確認ください。審査表の審査基準を基に、申請書のみでの審査をしていただきましたので、この後行われるプレゼン後に得点修正があればそこで修正していただき、審議をしていただきます。

それでは、本日の審査会の進め方について説明いたします。

ヒアリング審査員3名と地域振興課長の計4名でヒアリング審査を行います。ヒアリング審査員3名については、あらかじめ事務局の方で、決めさせていただきました委員の方をお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

※委員異議なし

続きまして、ヒアリング審査の仕方を説明いたします。

最初の3分間で申請団体から申請概要説明をしていただきます。その後、残りの17分間でヒアリング審査員の方に質疑をしていただきます。質疑にあたっては、委員の皆さまでどのような質問をするか、また誰がどの質問をするかという打ち合わせをする時間を設けたいと思います。ですので、質疑にあたっては、ご自身で考えられた質問のみならず、お手元の「審査表集計結果」にあります皆さまの意見を委員の代表として述べていただくようお願いいたします。なお、質疑の間、ヒアリング審査員以外の方には、傍聴をしていた

できますようお願いいたします。

プレゼン終了後に皆様で審議していただきます。そこで、事前にご記入いただいた審査表の得点とプレゼンを参考にしながら採択・不採択の決定を行っていただきます。各事業とも30点満点で、6割の18点が採択の基準点となっております。

以上で説明は終わりますが、何かご質問等ございますでしょうか。無いようでしたら、審査内容の打ち合わせを行いたいと思います。

※委員質問なし

(地域振興課長)

ざっくりとした説明で申し訳ございません。市民活動推進補助金というものを用意しております。令和2年度の予算に160万円計上させていただいております。毎年160万円用意させていただいておりますが、大体140～150万円ほど申請団体が交付を受けておられて、緑化事業ですとか、イベントをするのに補助を受けている状況でございます。今回は、「さかいみなど中野港漁村市実行委員会」から「中野港交流人口拡大計画Ⅱ」という事業名でのご提案をいただいたところです。予め皆さまには申請書を見ていただいて申請書に対して目的や社会貢献性はどうか、自主性・主体性はあるか、住民参加度はどうか、補助金の有効活用がなされるか、継続性・発展性はあるかというような30点満点で審査をしていただいて、点数をつけていただいたところです。それを第一段階として、集計結果と質問したいことやそのほかのコメントをまとめてあります。これを元にこれからプレゼンと審査をしていこうということです。

今日のヒアリング審査については、この3名の方をお願いしておりますが、年4回審査がありますので、皆さん必ず1回は審査員にはなっただく形になるかと思っております。市報等で募集をしておりますし、予算が足りなくなるほど応募があると良いなあと思っております。予算が足りなくなったときには財政課と協議しまして予算を増やしていくという風にしたいと考えているところです。ですので、金額に関係なく、この事業が良いか悪いかというところを皆さんには見ていただいて採択か不採択かを判断していただければと思います。

審査の後にはあらためてプレゼンを聞いて、自分の点数を直したいというようなことがあれば直していただいて、最終的に評価点を決めさせていただきます。それが18点以上であれば採択になります。また、採択であっても、こんなことには気を付けてくれとかこんなことは認められないよというのは、皆さんで話をして、付帯の文書をつけて決定という形にすることもあります。だから、書いてあることが全部良しでなくともOKです。それはまたプレゼンを受けたあとに、全員で協議していきたいと思っています。

それでは、集計結果という文書を見ていただけますでしょうか。

<打ち合わせ>

①ヒアリング審査員のうち、誰がどの質問をするか振り分け

②質問の意図を確認

<申請団体によるプレゼンテーションの開始>

◇1 団体目 さかいみなと中野港漁村市実行委員会

- ・申請事業 中野港交流人口拡大計画Ⅱ
- ・事業内容 漁村市の実施により沿岸の魚の魅力を発信し、境港の水産を盛り上げるとともに、高校生と協力し将来の担い手育成を図っていく。また、上田勝彦氏の実演・講演会を開催する。

(会長)

今年度の来場者予定数というのは約7千人ということですが、どうですか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

そうですね。ただもう5月はやらないだろうと。漁業者と日々連絡を取り合っているんですけど、会長が聖火ランナーに決まっていたんですが、それもなくなりましたし、5月はやらずにそれ以降も情勢を見ながら判断することになると思っています。

(会長)

PR方法でNHKというのがありましたけど、民放は。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

民放は商売なので広告料がかかります。本当は市の防災無線で一斉放送してくれたら広告を打たなくても良いのですが、特定のイベントは駄目みたいで、それができたら良いんですけど。

(会長)

取材には来るのですがね。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

取材には来るんですけど、やっぱり告知は中海テレビニュースの朝の情報番組の電話出演が精いっぱいです。やれるところは全部やったんですけど。

(会長)

説明用資料にある「今年度のテーマ」に「マイナーな魚」とありますがどういう意味ですか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

エノハとかはメジャーですけど、名前が出て来ないですが、メジャーじゃないぱっとし

ない魚を売り込みたいということです。ただこんな状況で、我々末端の飲食店ですらお客さんが来ない状況なので、まずは開催できるかというところです。

(会長)

「交流人口拡大計画」ということでウエカツさんの講演会もあるということですけど、一般の方向けに公民館などでお魚料理講座というのがあるのもっと普及するのかなと思います。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

分かりました。ありがとうございます。

(委員)

上田さんの講演会についてですが、先ほど言われたように「情熱大陸」にも出て知っておられる方も多いかと思いますが、知らない人もいますので、この講演会による効果をもう少し詳しく教えていただけますか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

全く知らない人を呼ぶよりは、今まで境港におられてベニズワイガニの資源管理を導入された張本人で、何より家庭に技術を落とし込むには地元の実用を知った方でないといけません。また、この方は求心力も高いです。官には受けが悪いですが民には非常に求心力が高い人でおしゃべりも上手で、呼ぶにはもってこいかと考えています。それに、例えば、「生臭くない味噌汁の作り方」とか色んなニッチなところに入ってくるテーマを持っておられるので、良いかなと思いました。

(委員)

先ほども言われていたのですが、新型コロナウイルス対策ということで色々考えていけないところですが、今のところどんなことが決まっているか詳細を聞かせていただけますでしょうか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

申請書を作ったところは、まさかここまで大きい話になるとは思っていませんでした。場合によっては、今年度漁村市は全部せずにウエカツさんの講演会だけ商工会議所でやるのもありかなと。先日、大山鳥のびっくり市のチラシを見たのですが、等間隔で並んでくださいとか、そこまでするのかなと思ったのですが、漁村市は毎回行列ができるので、本当に情勢を見ながらやっついていかないとはいけません。こればかりは現時点ではどうとも言えません。

(委員)

出店料についてですが、一律で500円ですか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

一律500円で、まつぼっくりとか福祉団体からはいただいております。500円でPRができると思ったら安いかなあとは思っているのですが。

(委員)

委員の中では500円が安すぎるのではという意見も出ていて、多分、地元の繋がりだとか地元愛がある企業の方が出ているという上で、近年、高い集客力もあるということで、1,500円にあげるだけでも事業収入の3万円が3倍にアップするので、その分をまた講演会とかイベントの充実に使おうとか、市の補助金を使っているのだから、補助金を減額するとかそういうところも検討していただけたら、持続可能なのかなと思います。

もう1点ですが、昔は魚屋さんで魚を説明して売っていたけど、今はスーパーに置くだけなので、それが、消費が少なくなる原因の一つかなと思うのですが、そんな中で、今回みたいなウエカツさんに講演いただくというのは本当に良いなあと思っています。その中で、今後、長く継続していくための具体案があれば教えてください。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

ここだけの話、漁村市も8年目なのですが、10年目になったら一切手を引こうと思っているんです。10年たって、漁業者主導でお願いされたらやろうかなと。いつまでも僕主導でやってもしょうがないし、で、そのために会長は漁業者にしているわけで。漁師は魚を獲る専門で、やっとならぬ魚を売ることに慣れてきて、魚を売る漁師ってだけでもインパクトはあるんですけど、さすがに補助金まではよう取らんとしますので、そういうバックアップは僕がしながら、やがてですけど、本当は新しくできた市場と連動して魚価が上がるっていう物語だったんですよ。ふたを開けてみれば、沿岸漁業者は木箱も使えないし、中古箱も使えないので、出費が増えちゃったんですよ。そこを市と県に何とかしてくださいとお願いはしているんですけど、こんなんしてたら、沿岸漁業者は個人事業主なんで続かないし、会社みたいに体力があったら良いんですけど、あくまでも一人親方の集まりなんで、そう思ったらもう少し続けないといけないかなと思ってみたり。そこで、今年度、まさかのイレギュラーなコロナウイルスということもあったので、10年計画は15年になるかもしれないし、そこは様子を見ながら、僕も末端で日々魚を構ってますんで、さっきまでもカニを構ってたんですけど、日々の情勢の変化に対応できたらなと考えています。それに伴って、ベニズワイガニも価格が上がってきましたので、まあ逆に言ったら、自分で自分の首を絞めているんですけど、で、未就学児の食育も定着してきたんですけど、担当者が変わるとまたネットワークを一から作っていかないといけないので、保育園のやつもどうなるかなという感じです。未知数な面が多いです。

(地域振興課長)

これまで活動されてきて、目的を達成できた点とこれはまだまだ課題だぞという点、繰り返しになるかもしれませんが、お話いただけますでしょうか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

漁業者という点で見ると、漁業者が勝手に出て来て、準備して、自分の売り場作って、上手に販売しているということ。会長はメディア対応も上手です。これはなかなかないです。だから、沿岸漁業の星として聖火ランナーに推薦もされたんですけど、それが実現しないのはちょっと残念です。

魚価で見ると、オゼなんかは二束三文ですが末端では高級魚です。だから、もっとピックアップして売らないといけないんですけど、沿岸漁業なんで少量多種で規格もバラバラ。その中で、いかに付加価値をつけていくかっていうのはすごく難しいです。2年目くらいに作ったブランドのロゴがあるんですけど、本当はこれを値札に貼って市場に上場したいけど、なかなかそこまでいきません。そのためには、県外のスーパーとか飲食店とかに来ていただきたいんですけど、これは未定な部分が多いです。

定着した面としては、境港総合技術高等学校、私が見ている課題研究の魚食普及の班が5月～9月は漁村市しながら、間にまぐろ感謝祭もやって、鬼太郎カップ駅伝等でカニ汁も作り、その合間に週2回の課題研究の時間に魚の料理もして、食堂で新巻鮭販売をするという飲食店ごっこができるようになりました。未就学児の面でいったら、園児がだれなような1時間のパッケージングができたのは良かったです。歌とか踊りをしてもらって、そのあとはタッチングプールで遊んでもらい、私が用意した何かしらの試食をもらうという流れです。ですが、これまた担当者が変わったからどうなるかというところです。

で、これを手伝うのが、私がやっているベニガニ有志の会がベースなんですけど、うまい具合にできてるかなと。毎回、LINEで情報提供をしているので、ネットワークもばっちりだし、メディアも新聞でも書いていますし、漁村市のブログと美佐のブログとベニガニ有志の会のブログにも私が夜中2時3時になってからたくさん書いていますので、ばっちりです。まあ、私が倒れたらもう駄目ですが。

(地域振興課長)

本当にお一人で奮闘されてますね。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

私が台本を作って、後は人に流しているんです。

(地域振興課長)

会長と代表者が異なるということは意図があるとは思いますが、お聞かせくださいま

すか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

漁師が主役なので、下回りの仕込みは事務局長という何でも屋の私がこうやって説明して会長には電話で報告して、会長にはテレビに出て喋ってくださいとか、AKBの秋元康のような感じです。

(地域振興課長)

ウエカツさんの講演会についての資料に商工会議所から10万円出るとあり、それはウエカツさんの講演会の予備費と懇親会に充てるということですが、そうすると、懇親会があることで2泊になりますが、なければ1泊になるのかなと。ですので、必要経費の見方は変えていかないといけないのかなと思いました。

それで、5月からの4回のスケジュールで収支予算を組んでもらってますけれど、今回コロナの関係で流動的になるという前提で評価させていただいてよろしいでしょうか。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

当初は、5月に境港サーモンを販売するというのをあてにしていたので、5月がなくなれば収入の12万5千円がなくなります。ウエカツさんの2泊も1泊になるかもしれません。そのほかもどうなるか分かりませんが、確実に5月はないといえます。

(地域振興課長)

ですので、収支予算が流動的になるということは申請側も交付側も確認したということですのでよろしいですね。

(さかいみなと中野港漁村市実行委員会)

はい。

(地域振興課長)

ありがとうございました。

<プレゼンテーション終了>

(会長)

それでは審議に入りたいと思います。みなさんプレゼンをお聞きになりまして感じたことなどがあれば発言していただけたらと思います。

※以下、非公開

(会長)

それではこの事業については、採択としたいと思いますが、いかがでしょうか。

※委員異議なし、非公開終了

それでは、申請団体に対して採択の通知をお願いします。それから、行かれたことのない方は1回行ってみていただけたらと思います。

(地域振興課長)

こういった形で市民の方々が自主的に実施される事業やイベントに対して市が補助金を出す、それにあたり、皆さん委員に審査をお願いして、補助金を出すか出さないか決めてもらうという唯一無二の制度になります。今回は市報の4月号で募集させていただきました。これまでは4月に募集して5月中旬からの実施じゃないとできなかったのですが、それは不公平ではないかという市民の声もあって、この年度末に審査を行い、4月1日から補助の対象になるようにさせてもらったところです。これも皆さまからのご発議で審査を1回増やさせていただいた形です。本当に行政がというよりも市民の方から出た意見を取り上げさせていただいて、それによって市民活動、「魚を売るのも市がすればいいじゃないか」という意見もあるかもしれないですけど、協働の視点に立って、「市がここまでしてくれたらあとは自分たちでするから」というような活動を活性化していく、そのためのご意見をいただくのがこの会議です。よろしくをお願いします。

(会長)

それでは、以上で、市民活動推進補助金の審査を終了します。

7. 今期取組テーマについての協議

(会長)

続いて、今期の取組テーマに移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

まずは、今年度のスケジュール(案)について、ご説明します。【資料3】をご覧ください

※以下スケジュール案を読み上げた

まずは、第7期の推進会議で取り扱うテーマについて、決めていく必要がございます。これまで取り扱ったテーマとしましては、第5期(平成28年-平成29年)は、「若い世代の参加」というテーマで協議を行いました。若い世代はなぜ参加しないのか、参加させるにはどうしたらよいかという点を追及して、島根大学の毎熊アドバイザーと共に、島根大学の学生をこちらに呼んで、話し合いをしたり、また、委員の皆さまが一人ずつ若い世代の方を呼んでいただいて、話し合いをし、若い世代の意見を聞いていくことをしました。結果、第5期では、報告書という形で市長に提出しました。

第6期（平成30年～令和元年）では「U・Iターンしたくなるまちづくり」というテーマで協議を進め、高校生・大学生とのワークショップや模擬審査会、また、今期の委員で参加いただいた方もいらっしゃいますが、移住者とのワークショップを実施し、先日、第6期の会長と副会長が市長に提言・実践報告書として提出をしたところです。第5期の報告書・第6期の提言・実践報告書も資料としてつけておりますので、またご覧ください。

さて、第7期のテーマですが、【資料4】をご覧ください。参考までに、事務局から一例をあげてみましたが、必ずしもこの中から決めていただくものでもありませんので、ご理解ください。

※以下、例を読み上げた

また、これは、テーマが決まってからになるのですが、協議をどのように進めていくか。そして、最終的にどのようにまとめあげるのか、といったことも検討していきます。

その他の資料として、【資料5】「まちづくり総合プラン（概要版）」と本文から一部抜粋したものもつけております。「まちづくり総合プラン」は市の施策の基本となる一番大きな計画であり、その中に5つの基本目標があります。5つ目の目標として、「市民との連携による誠実が行政運営」（概要版最終ページ）とあり、その中の具体的施策に「協働のまちづくりの推進」が掲げられております。この部分を本文から一部抜粋しておりますので、こちらをご参照いただけたらと思います。

（会長）

とりあえず、決めるべきはテーマということになります。事務局から例が挙がりましたが、これはあくまで一例ですので、こんなことがしたいというのがありましたら、次回の会議までに考えていただきたいと思います。

事前に事務局に提案なり、相談なりしていただいてもよいと思いますので、よろしくお願いします。

これにつきまして、何か質問がある方はいらっしゃいますか。

（委員）

資料4にある「最終的な着地点」についてですが、これは行政に反映させないと何の意味もないですね。

（委員）

同意見です。

（委員）

ここであーだこーだ話しても書類にして終わりでは何の意味もない。市政に確実に反映させないと、何の意味もないと思います。先ほど、審査しましたが、これは非常に具体的

なやり方だと思います。

(地域振興課長)

説明が足りなかったようで、会長からお話いただけるとありがたいのですが。

(会長)

資料に「第6期(平成30-令和元年度)境港市みんなでまちづくり推進会議提言・実践報告書」をつけておりますが、こちらは先日、市長に直接お渡しし、市制に反映していただけるようお願いしております。

(地域振興課長)

「で？」ということですよ。事務局が本当は説明しないといけません。第5期は「若者の(行政)参加」というテーマで、この会議自らが委員の構成メンバーに若い人を参加させ、委員を入れ替えました。それを第5期は報告書としてまとめ、市長に報告しました。市には審議会がたくさんあるのですが、団体の長だとか会長ばかりではなく、男女の比率もあります。年齢構成についてもなるべく検討するようにと指示もありました。今回の第7期のメンバーも年齢層が下がってきています。そういった形で反映させていくようにしています。このまちづくり推進会議だけではありません。また、まちづくり若者委員会というものも設置されました。若い方にお集まりいただいて、市の観光や産業について、若者が話をする会が一つできました。

第6期は「U・Iターンしたくなる境港へ」ということで、先日、会長・副会長、それから島大生の方々から、提言・実践報告書を市長へ提出されて、市長もよくお読みになって、「職員に検討するように指示します」とお言葉がありましたので、反映できるところはどこまでかというところはあるかと思いますが、そのような指示があるところです。皆さんが提出して済んだではなく、確実に市に何等かの影響が出るようにはなっています。

(会長)

そうしましたら、次回までにはテーマについてお考えいただけたらと思います。

8. その他

(会長)

事務局から何かありますでしょうか。

(事務局)

先ほどもお話しましたが、次回の開催は5月のゴールデンウイーク明けと考えておりますので、調整の上、ご案内いたします。市民活動推進補助金の審査もあると思いますので、また書類審査をご協力いただけたらと思います。

最後に、4月1日付けの人事異動が発表されましたので、そのことについてご挨拶させていただきます。

(事務局) 係長

この度の人事異動で4月より自治防災課に異動することになりました。平成28年から企画係におりまして、3年間はふるさと納税をメインにさせていただきました。今年度からこの「みんなでまちづくり推進会議」に関わり始めたところではありましたが、第6期の皆さまには1年間、第7期の皆さまにはこれからというところでしたが、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

また、自治防災課でも関わりがあると思いますので、よろしくお願いします。

(委員)

自治防災課ということで質問ですが、市民の声提案箱の令和元年度版がまだ公開されない理由はなんですか。あそこにたくさんのヒントがあります。

(事務局) 係長

確認してみます。

(委員)

質問した人には回答していますが、とは言っていましたが、誰が何を言ったか知りたいので。

(事務局) 係長

しっかり確認しておきます。

(事務局)

事務局からは以上です。

9. 閉 会

(会長)

はい。それでは、以上をもちまして、第1回みんなでまちづくり推進会議を終了します。委員の皆様、長時間にわたってご協議いただき、ありがとうございました。